

歯学部附属歯科技工専門学校
令和7年度自己点検・評価及び学校関係者評価報告書

1 目的

実践的な職業教育等を目的とした自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえ、その達成状況や達成に向けた取組の適切さなどについて評価し、その結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について、学校外の関係者（以下「学外評価者」という）による学校関係者評価を受け、学校として組織的・継続的な改善を図ることにより、教育水準の向上を図ることを目的とする。

2 実施概要

① 自己点検・評価の実施

歯学部附属歯科技工専門学校（以下「本校」という）において、点検・評価項目を4項目設定した。

本校において、各点検・評価項目について自己点検・評価を行い、その結果について以下の4段階により評価をし、「自己点検・評価及び学校関係者評価票」を作成した。

（A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない）

<点検・評価項目>

① 学生の募集活動は適正に行われているか。
② 関連分野における知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。
③ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。
④ 【重点目標】関連分野における業界との連携による学生への教育体制は整備されているか。

② 学校関係者評価の実施

(1) 学外評価者による評価は、本校からの提供資料によるほか、授業、学校行事等の見学、校長・教職員及び学生との面談により行った。

(2) 本校から「自己点検・評価及び学校関係者評価票」の各評価項目についての資料等を提示し、評価結果及び取組状況等を学外評価者に説明した。

(3) 各学外評価者が、評価結果について「自己点検・評価及び学校関係者評価票」に取りまとめるとともに、以下の4段階により評価した。

（A:十分できている, B:おおむねできている, C:一部改善が必要, D:できていない）

- (4) 学外評価者の互選による代表者は、各学外評価者が記述した「自己点検・評価及び学校関係者評価票」を取りまとめ、「自己点検・評価及び学校関係者評価報告書」にて評価結果（総評）を作成した。

3 学外評価者

① 卒業生

飯沼 邦秀（昭和 60 年度歯学部附属歯科技工専門学校卒業生）

② 学校の専門分野における関係団体・関係業界

石川 功和（東京都歯科技工士会会長）

③ 地域住民

椎名 芳江（元歯学部附属歯科技工専門学校専任教員）

4 学校関係者評価協議会開催日時

- ① 第 1 回 令和 7 年 10 月 9 日（木） 午後 3 時 55 分～午後 4 時 50 分
② 第 2 回 令和 7 年 11 月 14 日（木） 午後 6 時～午後 8 時
③ 第 3 回 令和 7 年 12 月 11 日（木） 午後 3 時 55 分～午後 4 時 15 分

5 評価結果（総評）

昨年度からの問題点である専任教員の数について、臨時職員（実習指導補助）の起用が進められていることは大変評価されることであり、今後の指導環境も良くなることを期待している。

また、3D スキャナと CAD ソフトウェアの導入、関連企業のセミナーへの参加など、学生にとって貴重な取組が行われていることも評価に値する。これらの活動を通じて、校長、教務主任及び専任教員が一丸となって努力していることが感じられた。さらに、入学者数も増加傾向にあるが、夜間課程で働きながら学べることをより積極的にアピールし広報戦略に一層力を入れていくことを望む。

以 上